

# 趣旨

日本には消滅の危機にある言語・方言がいくつもあります。アイヌ語、八丈方言、奄美方言、国頭方言、沖縄方言、宮古方言、八重山方言、与那国方言、そして、東日本大震災の被災地方言など。「危機的な状況にある言語・方言サミット」は、これらの言語・方言の状況や地域の取組事例の紹介、聞き比べや講演、協議などを通して、文化の多様性を支える言葉の役割や価値について共に考え、危機的な状況を改善するきっかけとします。

## プログラム

**10月14日** 土 13:10 - 17:45

**13:10 開会式**

オープニングアトラクション  
与那国島の芸能  
(ダーナラシ、ミティ唄、ティンバイ)  
関係者挨拶

**13:45 基調講演**

『どうなんむぬい辞典』づくりから  
考えた言語継承と研究者の役割  
中澤光平 (信州大学)

**15:00 休憩**

**15:15 聞き比べ**

アイヌ語、津軽、南部、八丈、奄美、  
国頭 (沖永良部、与論、沖縄本島)、  
沖縄、宮古、八重山、与那国 (祖納、  
比川、久部良)

**16:00 休憩**

**16:15 表現披露**

アイヌ語、津軽と南部の二人芝居、  
与那国語による「キングイ」(狂言)  
ドゥングトゥ

**17:45 終了**

**10月15日** 日 10:00 - 15:45

**10:00 開会**

**10:05 危機方言の現況報告**

山田真寛 (国立国語研究所)

**10:35 アイヌ語の現況報告<収録動画>**

遠藤志保 (北海道博物館)

**11:05 休憩**

**11:15 協議**

**12:45 ブースアピール**

**13:00 休憩**

**14:00 ブース発表 ※**

与那国、宮古、与論、沖永良部、  
八丈、しまくとぅば普及センター、  
アイヌ、言語復興の港

**15:30 閉会式**

大会宣言、関係者挨拶

**15:45 終了**

※ 会場は多目的室

※ 敬称略

※ 都合により変更する場合があります



基調講演講師 **中澤 光平**

博士 (文学、東京大学 2017 年)  
与那国町教育委員会嘱託員 (2016 ~ 2018 年)  
与那国方言辞典編集委員会専門委員 (2021 年~)  
現在、信州大学人文学部講師  
どうなんむぬい検定 9 級、8 級

## 問合せ先

与那国方言辞典編纂室 (与那国町教育委員) TEL 0980-87-2440